

令和四年度

第六十三回 入学式 式辞

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

みなさん一人一人の元気な返事に、中学校生活への確かな決意を感じる事ができました。

今日から、皆さんは調布市立第三中学校の生徒です。

私たち、教職員は、皆さんのご入学を心待ちにしておりました。

今 188名の新しい仲間を迎えることができ、とてもうれしく思っております。

中学生になったみなさんも、今日から頑張ろうと言う決意と、新しい友達との出会いや部活動など期待を胸に座っていることと思います。

しかし、東京都の新型コロナウイルスの新規感染者数も増加傾向です。感染防止策を講じた上での学校生活となり、3密をさけ、給食も前向きで会話することも許されません。不自由な思いをさせるかもしれませんし、学校行事も急遽変更することもあるとおもいますが、何とかこの新型コロナウイルスの校内でのクラスター発生は抑えなくてはなりません。みなで協力して乗り切りましょう。

さて、本日、皆さんにお伝えしたいことを二つだけお話しします。

一つは学習です。みなさんはなぜ勉強しなくてはいけないと思いますか？今ウクライナの問題をはじめ大変不安定な国際状況にあります。日本も今までのように平和で安全な国でいつまでいられるか不安な状態です。そんな不安定な世の中に生きていくみなさんは、いろいろな情報を精査して活用していかなくてはなりません。そのためには、分析する力、考える力、その基礎となる知識がとても大切です。自分で考えることができないと他人に自分の生き方をゆだねることになってしまいます。主体的に学ぶ姿勢が大切と言われています。主体的とは、自分にとって何が必要で、何をすべきかを自分で考えるということです。先生や親に言われてやらされる勉強ではいけないということです。

二つ目は、中学校の三年間で「義務教育」が修了するという事です。中学校を卒業したあとに、自然と高校に進学できるわけではありません。自分の学習の習熟度を考え、自分の頭で判断し、自らの進路を開拓していかなくてはなりません。

社会に出て、独り立ちできるための基礎の力をつけるための三年間だと心得てください。

これからの人生のなかでは、悲しいこと、思ったように事が進まないことに幾度も出会うことになるでしょう。そんなとき、失敗や困難を乗り越え、力強く生き抜いていく力をつけなくてはなりません。

中学校では失敗を恐れず、いろいろなことに挑戦して自分の心と体を鍛えてください。

保護者の皆様には、お子様のご入学、誠におめでとうございます。感染防止策とはいえ、本会場にはお一人しか入れることができず、ご不便をおかけして申し訳なく思います。

本日から三年間 調布市立第三中学校の生徒として、大切なお子様を、お預かりいたします。

教職員一同、力を合わせてお子様の、よりよい成長のために努力いたします。

私たちは、ご家庭や地域にお住まいの皆様と学校が協力し合うことによって、お子さまのより健全な成長を支えていくものと信じております。

調布市立第三中学校の教育活動に、みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。式辞といたします。

令和四年 四月七日

調布市立第三中学校
校長 大瀬義一